

活動報告 1

- 活動日時：2023年10月22日(日) 9:30~15:30
- プログラム名：カブトムシの森 クヌギの伐倒
- 目的：クヌギの萌芽更新
- 活動場所：カブトムシの森A地区
- 参加者：12名
- 活動概要：1班：直径31cmのクヌギ伐採、2班：直径26cmのクヌギの伐採
- 活動内容：

秋晴れの一日で快適な作業日よりでした。A地区カブ森のクヌギは後16本残っています。この皆伐に向け、伐倒班を2班づくり、クヌギの伐採に取り組みました。

1班はA地区中央部にある直径31cm高さ20m級の巨大クヌギに取り組みました。

今回1班は、森会会員歴数年の人に伐倒リーダーをやってもらいました。伐倒作業は何度も経験しているはずですが、ロープ掛けなど、やってみると忘れていたことも多かったようですが、班長の指導の下、伐倒方向にきちんとコントロールして倒すことができました。

2班は5人で、斜面にあるクヌギに取り組みました。このクヌギは重心の方向は掛り木となるため、重心と反対方向に倒すという高度な伐倒作業となりました。通常、受口切りの後、追い口、くさびを入れて倒しますが、追い口切りのノコギリが噛んで伐ることがなかなかできませんでした。ロープを引きながらくさびをいれ、時間はかかりましたが、目標伐倒方向へ伐倒できました。その後、隣接するコナラの枝も高枝ノコで落としましたが、こちらも他の木へ掛り木となり、枝処理が大変でした。本日は、両班とも困難な伐倒作業となり、目標本数4本は伐採できませんでしたが、安全にコントロールして、伐採ができて良かったです。伐倒後の枝処理もチェーンソーも使い、2本とも現地で完了しました。



活動報告2

■活動日時：2023年10月22日(日) 9:30~15:30 (調査13:00~14:30)

■プログラム名：カブトムシの森 植生調査

■目的：カブ森の変化を観察する

■活動場所：カブトムシの森A地区 調査区

■参加者：2名

■活動概要：A地区の調査区(10m×10m)内の林床の草本類の種と優先率の調査

■活動内容：

昼食後調査区内の調査を開始しました。

5m×5mの区画4つを調査し、調査方法は蕾、花、果実の付いている植物の種類と被度を調べました。調査区内で確認できた種数は例年とほぼ同じ18種確認でした。

今までの伐採でA地区の東側がとても明るくなり、新しくヒメアザミとススキが確認できました。今後、調査区を含めたA地区の伐採が進めば、草本類の多様化が期待できそうです。

調査区には、夏の伐採の残材(幹や枝葉)の処理ができておらず、一部調査ができない箇所がありました。また、午後は太陽光が傾き林床植物の小さな実や葉の判別しにくく、調査には向かない時間帯であることが分かりました。



〈伐採と植生調査を行ったメンバーです。〉